



学校だより

かけ橋

パート 2

横須賀市立汐入小学校 校長室

2012. 9. 28

No. 11

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

暑さ寒さも彼岸まで

9月のお彼岸を境に、厳しかった残暑もうそのように涼くなりました。涼しさを通り越して、肌寒さを感じるほどです。この気温の変化に、夏休み明けに何日間か続いた「全校欠席者0」の記録も途絶えてしまいました。

先日の朝会で、「暑さ寒さも」の続きは、何でしょう、という問題を出しました。全校の半分近くの子どもが手をあげました。1年生は、ほとんどの子が手を挙げていました。まわりの雰囲気につられて、手を挙げたのかもしれませんが・・・。

次に、「ひがんまで」と答えて、「漢字で書けますか？」と続けて聞いて見ました。6年生の一人が、手を挙げました。「漢字はわからないけど、『ひ』『がん』にわかれているといます。」それを聞いて、近くにいた6年生が、『ひ』はわからないけど、『がん』は、岸という漢字だと思います。」と発言しました。

さすが、6年生です。このように、日常の中のちょっとした出来事で、当たり前と思うことも、自分なりに考えて、「わからない。」とすぐにあきらめることなく、「ここまでなら、わかる。」と言える子になって欲しいと思っています。

今回の朝会の話は、1・2年生にとっては、チンプンカンプンだったかもしれませんが、6年生のお兄さんお姉さんが真剣に考えている姿を見ることで、感じるものがあつたのではないかと思います。

ふれあい給食

本校では、たてわり班の仲間と校長とのふれあいの機会を持つために、7～8人の子どもたちと校長が、ランチルームで一緒に給食を食べています。6つのたてわり班を前半と後半に分けて、合計12回行っています。

9月20日から、後半が始まりました。ランチルームには、「1年生は、『いただきます』をします。」「2年生は、『ごちそうさま』をします。」「3・4年生は、テーブルを拭きます。」など、学年毎の役割や手順を書いた紙が掲示してあります。

1年生から6年生までと一緒に給食を食べる貴重な機会です。毎回、子どもたちに「みんなに聞いてみたいことはありませんか？」という質問をしています。

「好きな給食は何ですか？」「休日は、何をしていますか？」「好きな色は何ですか？」「好きな飲み物は？」等々、班毎に様々な質問が出ます。

「好きな歌手は？好きな歌でもいいよ。」という質問には、高学年は、「マツケン」「桑田佳祐」、低学年は、「ヘビーローテーション」「プリキュラ」「ウルトラマン」という答。このギャップの大きさがおもしろいと思いました。

ある班では、「好きな漢字は何ですか？」という質問に、自分の名前に使われている漢字をあげる子が多かったのですが、「走」「夢」「祝」「鳥」をあげる子がいました。それぞれにちゃんと理由があり、なるほどと思われました。1年生は、漢字を習ったばかりなので、何と答えるか楽しみにしていたら、「一」という答でした。理由は、「私が、1年生だから。」という、何とも1年生らしいかわいらしいものでした。

日産自動車工場見学

ほとんどの横須賀市内の5年生は、追浜の日産工場を見学しています。お父さんお母さんの中でも、何台もの部品がベルトコンベアに乗って流れていく様子を覚えている方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

今年の5年生は、単なる見学ではなく、見学前に、2つの出前授業を行いました。一つは、「わくわくエコスクール」で、9月5日に行いました。気象キャスターの方と日産自動車の方がいらして、授業をしてくれました。気象キャスターの方は、地球温暖化について、写真やイラストを使って、子どもたちにわかりやすくお話ししてくれました。テレビで見ているようなお天気お姉さんを身近に感じて、子どもたちも大喜びでした。その後、燃料電池車の模型を組み立てたり、実際に、燃料電池車の車に試乗したりしました。(私自身も、電気自動車と燃料電池車の違いを初めて知りました。)

もう一つは、「ものづくりキャラバン」で9月10日に行いました。こちらは、レゴブロックを使って、自動車を完成させる授業です。グループ毎に役割分担をして、目標タイムに向けて、協力して作り上げます。最初の作業を終わると、より早く作るために、どこを改善したらよいか話し合っ、2回目にチャレンジします。日産自動車工場の新入社員教育でも使っているプログラムだそうです。この授業を通して、チームで協力する大切さ、工場の人のもものづくりに対する熱意を感じた5年生でした。

そんな2つの出前授業を受けて、自動車についての見方や考え方を広げた後での工場見学でした。働いている作業員さんの工夫や気持ちを実感しながら見学できたようです。



ユニセフ募金

6年生が、総合的な学習の時間に、汐入駅前で街頭募金を行いました。しかし、街頭募金は、学習活動のごく一部です。学習は、「世界の子どもたちの様子を知る」ことから始まりました。世界には、今生きることも難しい子どもたちがいる現状を知り、自分たちができることはないか考えます。そういった学習を通して、ユニセフ募金に行き着きました。



街頭募金の前にも、近隣の方へ募金をやることを伝え、協力を要請したり、駅の人に駅前ですらしてもらおう許可をもらったり、募金を入れる箱や知らせるポスターを作ったり・・・。実際にやると決めた後に、やるべきことがいろいろと出てきます。

それらをクラスの友達と話し合い、協力したり、分業したりしながら学習を進めていきます。教師としては、そういった活動を通して、課題解決力やコミュニケーション力、さらに、まわりを思いやる力が育って欲しいと願っています。

9月10日(月)～12日(水)の放課後、汐入駅前街頭募金活動を行いました。クラスでは、消え入りそうな声の子も、この日は精一杯呼びかけていました。3日間で合計97,818円の募金が集まりました。子どもたちは、募金箱に入れられた小銭やお札を数えながら、募金してくれた人たちの思いを感じ、これだけのお金を集めることができ、世界の子どもたちのために、役に立つことができたという達成感を感じていました。

この文面を借りて、今回の活動にご協力いただいた地域の方々、駅前に応援に駆けつけてくださった保護者の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。